

にんごう古墳群

にんごう古墳群の現地調査が終了しました。

所在地：津市大字神戸（つし おおあざ かんべ）他

遺跡への経路：中勢道路と県道家所阿漕停車場線の交差点の南

緑が丘団地の南（道路建設現場内のため立ち入り禁止）

位置情報URL：

<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=512&ll=34.70742592592592,136.47083898305084>

調査の種類：本調査

調査原因：一般国道23号中勢道路建設事業

調査期間：平成24年8月16日（木）～平成25年2月22日（金）

調査面積：2,689㎡

主な遺構：古墳・土坑（どこう）

主な遺物：須恵器（すえき）・埴輪（はにわ）・鉄剣

コメント：にんごう古墳群の調査が終了しました。古墳については表をご覧ください。

古墳	古墳の形	大きさ	出土したもの	古墳の時期
1号墳	円?	直径約14m	須恵器ふた3	7世紀前半
2号墳	方	一辺約17m	須恵器杯2・はそう 1、埴輪、鉄剣	5世紀後半
3号墳	方	一辺約10m	なし	不明
4号墳	自然地形の可能性が高い			
7号墳	不明	不明	なし	不明
8号墳	方	一辺約12m	須恵器はそう 1	5世紀後半

この他に、四角い土坑(穴)が3基見つかりました。

出土遺物はありませんが、このうち1基は古墳の盛土の下の、古い地面に堆積した土の面で見つかったことから古墳より古いことがわかり、他の遺跡の例から縄文時代に獲物をとるための落とし穴の可能性がります。

にんごう古墳群がつくられ始めた時期が5世紀後半と、周辺の古墳の中でも早い時期であることが分かりました。今後の古墳の広がりを考える上で、とても重要な古墳であるといえるでしょう。

はそう：壺のような形のもの。液体を入れて、体部に開いた穴に竹などをさして注ぎ口としたと考えられています。



写真：2号墳鉄剣清掃風景(北から)

問い合わせ先

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町471

調査研究2課 / 担当者：山中由紀子

電話番号：0598-42-7960 / FAX：0598-42-7961

e-mail：maibun@pref.mie.jp

